

令和4年度 第2回江別市まち・ひと・しごと創生有識者会議資料

【議事】

- (1) 第2期江別市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改定について P 1
別冊資料1
- (2) 令和5年度地方創生関係交付金申請予定事業について P 6

【その他】

- (1) 第7次江別市総合計画策定に係る取組状況と今後のスケジュールについて
P 8
別冊資料2

令和5年1月17日
江別市企画政策部

第2期江別市まち・ひと・しごと創生総合戦略の改定について

1 改定理由

平成7年に江別市に譲渡された江別市所有の旧町村農場（近代化産業遺産認定）について、令和5年度にデジタル田園都市国家構想交付金拠点整備タイプ（旧地方創生拠点整備交付金）を財源として改修する予定であるが、地方版まち・ひと・しごと創生総合戦略に交付金を活用する対象施設名を記載することが交付の条件とされているため、第2期江別市まち・ひと・しごと創生総合戦略に当該改修を踏まえた取組等を追加する。

2 旧町村農場の改修内容

(1) 旧町村邸

通年利用（現在は、4月～11月）できるようにするとともに、イベントスペース、売店、イートインスペース等を整備し、多目的に活用できるよう、改修する。

(2) 第一牛舎

映像と音声による展示解説を導入するほか、子どもが遊びながら酪農を体感できるスペース等を整備する。また、牛舎横の芝生をキッズスペースとして併せて整備する。

(3) 屋外トイレ

洋式化、バリアフリー化し、利用しやすいよう改修する。

(4) その他

製酪室、風車、木柵を周囲の景観に合わせて改修する。

3 概算事業費

199,991千円

（うち交付金99,995千円）

4 改定の方向性

江別市旧町村農場を観光施設として有効活用するとともに、その効果を市内全域に波及させるため、市内の周遊観光を推進していくことを記載する。

また、具体性を持った進捗管理を行うため、「江別市旧町村農場への来館者数のうち、市内の他の観光施設等に周遊した（する）人数」をKPIとして追加する。

5 改定内容

資料2「新旧対照表」（P3～P5）及び「第2期江別市まち・ひと・しごと創生総合戦略 改定（案）」（別冊資料1）のとおり

6 改定日（予定）

令和5年3月

7 その他（国の動向）

国においては、現行の「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」を抜本的に見直し、令和5年度から令和9年度までの新たな総合戦略を策定した。

新たな総合戦略は、名称を「デジタル田園都市国家構想総合戦略」とし、国が令和4年6月に閣議決定した「デジタル田園都市国家構想基本方針」で定めた取組の方向性に沿って、デジタルの力を活用しつつ、地域の個性を生かしながら地方の社会課題解決や魅力向上の取組を加速化・深化する計画と位置付けられた。

【参考】江別市旧町村農場におけるこれまでの主な経過

大正 6年	石狩郡樽川に町村農場を開設
昭和 3年	江別町対雁へ農場を移転
平成 4年	江別市篠津へ農場を移転
平成 7年	江別市に譲渡
平成 8年	旧町村農場として復元・整備の上、一般公開
平成19年	経済産業省から近代化産業遺産として認定
令和 4年	市民ワークショップの開催（計2回） 旧町村農場保存活用整備方針の策定
令和 5年	デジタル田園都市国家構想交付金拠点整備タイプの申請

新旧対照表

○第2期江別市まち・ひと・しごと創生総合戦略（令和5（2023）年 月改定）

（政策推進課（総合計画・総合戦略担当））

改正前		改正案	
<p>基本目標1 しごとをつくり安心して働けるようにする、 これを支える人材を育て活かす</p> <p>(1) 及び (2) 略</p> <p>(3) 具体的な施策と重要業績評価指標 (KPI)</p> <p>① 略</p> <p>② 産業間連携等による産業の活性化 北海道最大の都市である札幌市に隣接している立地を生かした都市型農業の推進、産業間連携や産学官連携等による商工業の振興と新たな地域資源の掘り起しによる観光振興などにより、地域経済の活発化を図るとともに、新しい産業振興策の展開に取り組みます。 【重要業績評価指標 (KPI)】</p>		<p>基本目標1 しごとをつくり安心して働けるようにする、 これを支える人材を育て活かす</p> <p>(1) 及び (2) 略</p> <p>(3) 具体的な施策と重要業績評価指標 (KPI)</p> <p>① 略</p> <p>② 産業間連携等による産業の活性化 北海道最大の都市である札幌市に隣接している立地を生かした都市型農業の推進、産業間連携や産学官連携等による商工業の振興と新たな地域資源の掘り起しによる観光振興などにより、地域経済の活発化を図るとともに、新しい産業振興策の展開に取り組みます。 【重要業績評価指標 (KPI)】</p>	
指標	目標値(令和6年度)	目標値(令和6年度)	基準値(平成30年度)
観光入込客数	143万人	143万人	135万人
商談会・催事出展企業数(食を軸とした地場産品販路拡大事業)	50社	50社	35社
誘致企業と地元企業等の連携による製品開発数	5製品	5製品	0製品
江別市旧町村農場への来館者数のうち、市内の他の観光施設等に周遊した(する)人数		1万4,000人	
		二	

【具体的取組】

- 観光振興計画に基づく新たな地域資源の活用や情報発信を実施し、札幌市はじめ道央圏からの誘客による交流人口の増加を図るほか、観光人材の育成や推進体制を検討し観光振興計画の推進を図ります。
- 北海道等で実施するマーケティング支援を最大限活用し、地域内・地域外での積極的な地場産品の販売戦略等を江別市が関係団体等と連携しながら推進します。
- 北海道林木育種場旧庁舎を改修するなど地域資源を活用し、札幌市や首都圏からの企業誘致を行い、地域の雇用の創出と従業員の定住を進めるとともに、誘致企業と地元企業や市内大学等との連携による人材育成や製品開発を推進します。

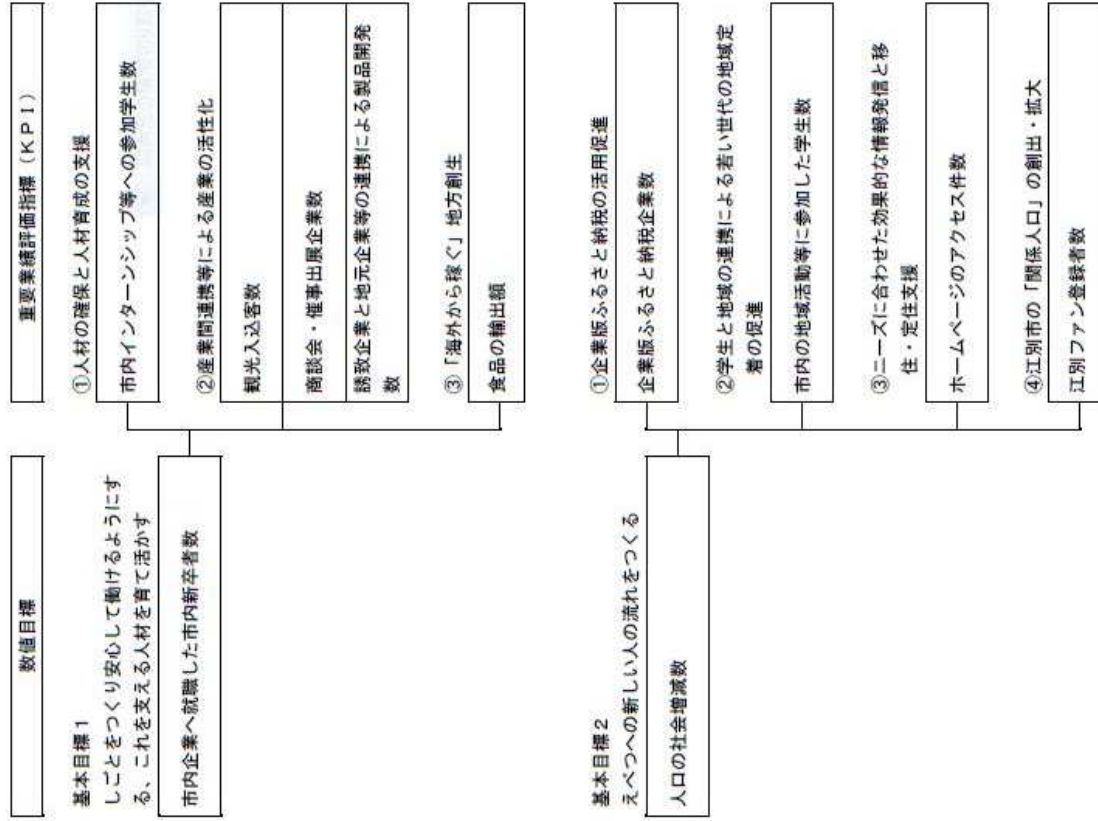
③ 略

【具体的取組】

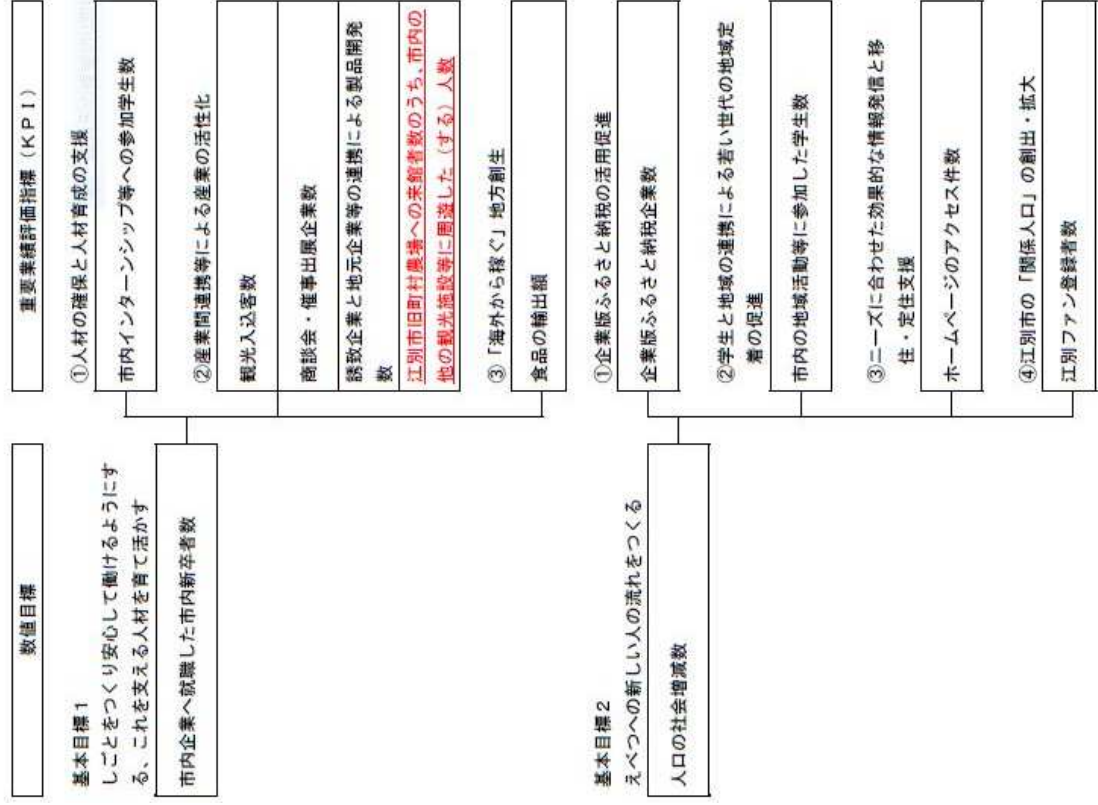
- 観光振興計画に基づく新たな地域資源の活用や情報発信を実施し、札幌市はじめ道央圏からの誘客による交流人口の増加を図るほか、観光人材の育成や推進体制を検討し観光振興計画の推進を図ります。
- 北海道等で実施するマーケティング支援を最大限活用し、地域内・地域外での積極的な地場産品の販売戦略等を江別市が関係団体等と連携しながら推進します。
- 北海道林木育種場旧庁舎を改修するなど地域資源を活用し、札幌市や首都圏からの企業誘致を行い、地域の雇用の創出と従業員の定住を進めるとともに、誘致企業と地元企業や市内大学等との連携による人材育成や製品開発を推進します。
- 江別市旧町村農場を改修し、酪農の歴史に触れる機会を充実させる
とともに、江別市の魅力の一つである乳製品を販売する店舗等を整備し、市内の周遊観光を促進します。

③ 略

11. 数値目標及び重要業績評価指標（KPI）一覧



11. 数値目標及び重要業績評価指標（KPI）一覧



令和5年度「デジタル田園都市国家構想推進交付金」申請予定事業一覧

○地方創生推進タイプ

No.	申請予定事業名	事業概要	総事業費(千円)
1	学生お試し移住・定住推進プロジェクト 【継続事業:4年目】	<p>江別市内4大学の学生に、連携8自治体の地域や企業の魅力を伝えることで、当該地域に移住就業させ、地方創生の実現を目指す事業。 実際に地域で暮らしながら参加するインターンシップや、優良な地域企業の掘り起し、コーディネーター同席のもとで行う企業訪問などを中心に、学生の地域移住に対する心理的障壁を下げて移住就業を後押しする。</p> <p>【4年目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域活動プログラムの実施 ・移住体験型インターンシップの実施 ・地域企業訪問説明会の実施 など 	3,365
2	えべつ食のブランド海外展開促進事業 【継続事業:4年目】	<p>今後一層の拡大が見込まれる海外の需要を取り込むため、輸出に取り組む市内食関連事業者を支援し、地域における「海外から稼ぐ力」を創出する。</p> <p>【4年目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外市場開拓等に要する事業への補助 ・海外バイヤーとの商談会の開催 ・海外販路開拓に向けた実践的ワークショップの開催 ・外国人向けPR動画等を活用したプロモーションの実施 	2,100
3	江別市就労支援プログラム事業 (江別まちなか仕事プラザ事業～女性と高齢者等の就労支援) (介護人材養成支援事業) 【継続事業:4年目】	<p>女性・シニアを中心とした潜在的労働力が、市内への就労に結びつくよう、市内大型商業施設内に就労相談、各種研修、企業との交流ができる総合型就労支援施設を設置する。 さらに、市内企業が人材活用の幅を広げられるよう、企業向け支援セミナー等も実施することで、求職者と雇用者の双方を支援し、地域で活躍できる人材の育成・確保を目指す。 介護分野では介護業務未経験者を対象に、入門的研修を実施することで介護人材の育成を図り、市内介護事業者への就労支援を行うことで介護人材の確保を図っていく。</p> <p>【4年目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加企業拡大に向けた合同企業説明会などの開催 ・企業の採用力向上のためのセミナー開催 ・介護分野における入門的研修及び雇成型就労の実施 など 	40,504
4	若者「えべつ愛」育成プロジェクト～「関係人口」の創出・拡大を目指して～ 【継続事業:4年目】	<p>市内大学生の「江別の認知度」を向上させ、「江別への愛着」を高めるため、大学生を対象に、江別に関する情報発信や、地域交流会、江別認知度向上バスツアーなどを通じて地域の様々な分野で活躍する方々と交流する機会をつくる。こうした取組により、卒業転出後も江別市に関心を寄せてもらい、多様な江別市との関わりを持続させることで「関係人口」の創出・拡大を図る。</p> <p>【4年目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域交流会の開催 ・市内4大学構内における江別PRブースの設置 ・えべつファンスマホサイトの運用 など 	5,351

○地方創生推進タイプ

No.	申請予定事業名	事業概要	総事業費(千円)
5	江別版生涯活躍のまち推進事業 【継続事業:5年目】	<p>市民が市外に転出することなく生涯にわたって暮らし続けられるまちづくりの実現を目指し、アクティブシニアや障がい者が就業、ボランティア等に携わり市内で活躍することを通じて、様々な地域課題の解決に寄与するような仕組みを構築する。</p> <p>4年目は引き続き「生涯活躍のまち」のPRを行い施設入居者や施設利用者の増加を図るとともに、新たに障がい者就労支援に係る取組を実施する。</p> <p>【5年目】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域交流事業の実施 ・「生涯活躍のまち」のPR ・障がい者就労の理解促進を図るための会議の開催 など 	7,928

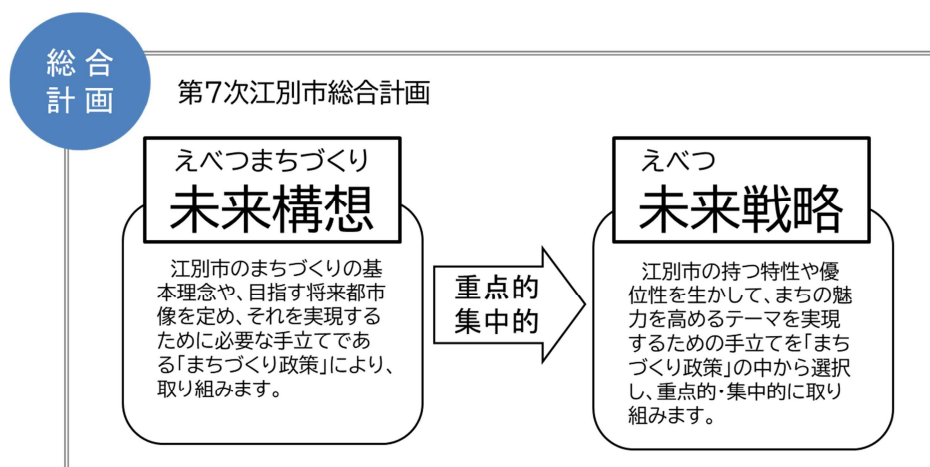
○地方創生拠点整備タイプ

No.	申請予定事業名	事業概要	総事業費(千円)
1	江別市旧町村農場保存活用推進事業 【新規事業】	<p>江別市旧町村農場を観光施設として有効活用するために必要な改修を行う。具体的には、平成8年度の開館時のまま更新していない、北海道酪農に関する展示をリニューアルするほか、江別市の特産物を販売する売店等を整備する。</p> <p>【改修内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第一牛舎に子どもが遊びながら酪農を体感できるスペース等を整備 ・旧町村邸にイベントスペースや売店等を整備 など 	199,991

第7次江別市総合計画策定に係る取組状況と今後のスケジュールについて

1 これまでの取組

- 市の最上位計画である現行の第6次江別市総合計画の期間が、令和5年度をもって終了することから、現在、令和6年度を初年度とする第7次江別市総合計画（以下「次期総計」という。）を策定中である。
- なお、次期総計の基本的な考え方を示す策定方針では、基本的な考え方の一つに、「まちづくりと地方創生を一体的に進める計画」を掲げているため、本会議においてこれまでの取組状況や、今後のスケジュールについて報告するもの。
- 策定作業は、令和3年度から開始し、
 - ・令和3年度に、市民参加の取組の実施
 - ・令和4年度に、行政審議会を設置・審議開始
 - ・令和5年度に、議会提案・審査・議決を大きな流れとして進めている。
- 現在は、次期総計を審議する江別市行政審議会において、多くの意見をいただきながら、調整作業を行っているところ。



【これまでの主な取組一覧】

番号	年月	内容
1	令和3年9月	第7次江別市総合計画策定方針の作成
2	令和3年10月	江別市まちづくり市民アンケート調査の実施
3	令和4年1月～	えべつの未来づくりミーティングの開始
4	令和4年2月	職員アンケート調査の実施
5	令和4年3月	江別市行政審議会条例の一部改正
6	令和4年4月	えべつの未来づくりプロジェクトの実施
7	令和4年5月	人口分析・将来人口推計の実施
8	令和4年5月	江別青年会議所との連携によるワークショップの実施
9	令和4年7月～	・第6次江別市総合計画の総括作業の開始 ・第7次江別市総合計画の骨子（案）作成作業の開始
10	令和4年7月	えべつの未来づくりミーティングの終了
11	令和4年8月	第1回 江別市行政審議会（委員委嘱・基礎情報の報告）
12	令和4年9月	第2回 江別市行政審議会（人口推計・市民参加の報告）
13	令和4年10月	第3回 江別市行政審議会（めざすまちの姿の提案・審議）
14	令和4年12月	第4回 江別市行政審議会（めざすまちの姿の審議）

2 今後のスケジュール

（1）令和4年度

- ① えべつ未来構想の骨子の作成
- ② えべつ未来戦略の検討

（2）令和5年度

- ① えべつ未来戦略（案）の作成
- ② 行政審議会での審議（えべつ未来戦略）・答申
- ③ 次期総計を議会提案

【参考 1-1 : えべつの未来づくりミーティングの一覧】

番号	実施日	グループ	出席者	若手職員	合計
1	1月26日	一般社団法人江別青年会議所	6	1	7
2	3月22日	江別市自立支援協議会	5	1	6
3	3月28日	公益社団法人江別市シルバー人材センター	4	1	5
4	3月28日	知的障がい当事者（長井学園の利用者）	4	0	4
5	3月30日	NPO法人江別手をつなぐ育成会	5	0	5
6	4月25日	まちづくり関係団体	4	2	6
7	4月25日	江別SOGIの会	5	1	6
8	4月27日	聴覚障がい当事者（江別聴力障害者協会）	4	1	5
9	4月28日	精神障がい当事者（江別空色クラブ）	3	1	4
10	5月16日	市内企業の経営者	6	0	6
11	5月18日	市内企業の若手従業員	5	1	6
12	5月20日	江別市女性団体協議会	6	1	7
13	5月21日	市内4大学の学生	8	1	9
14	5月23日	介護予防サポーター	5	1	6
15	5月24日	社会福祉法人江別市社会福祉協議会の若手職員	4	1	5
16	5月30日	江別認知症の人の家族を支える会	6	1	7
17	6月9日	J A道央・J A道央青年部	5	1	6
18	6月13日	江別市私立幼稚園PTA連合会	4	1	5
19	6月14日	市内高等学校の生徒（1回目）	8	0	8
20	6月29日	経験豊富な農業者	6	1	7
21	7月6日	野幌地区自治会連絡協議会	5	1	6
22	7月8日	子育て中のパパ・ママ （子育て支援センターすくすく利用者）	4	1	5
23	7月12日	江別地区自治会連絡協議会	5	1	6
24	7月19日	江別視覚障害者福祉協会	4	0	4
25	7月19日	市内高等学校の生徒（2回目）	10	0	10
26	7月21日	市内中学校の生徒	8	0	8
27	7月21日	地域の医療・介護に携わる方	6	1	7
28	7月24日	子育て中のパパ・ママ （保育園の利用者）	4	1	5
29	7月25日	大麻地区自治会連絡協議会	5	0	5
30	7月27日	江別身体障害者福祉協会	4	1	5
31	7月29日	江別市PTA連合会	3	1	4
合 計			161	24	185

【参考1-2：えべつの未来づくりミーティングの開催風景】



子育て中のパパ・ママ



市内中学校の生徒の皆さん



市内高等学校の生徒の皆さん



市内4大学の学生の皆さん



江別視覚障害者福祉協会の皆さん



市内企業の経営者の皆さん



J A道央・J A道央青年部の皆さん



大麻地区自治会連絡協議会の皆さん

【参考2：江別市行政審議会 委員名簿】

区分	No.	審議会 役職	委員氏名	所属団体等	職名
学識 経験者	1	会長	明神 知	北海道情報大学 経営情報学部	教授
	2	副会長	新田 雅子	札幌学院大学 人文学部	准教授
	3		井上 誠司	酪農学園大学 農食環境学群	教授
	4		竹田 唯史	北翔大学 生涯スポーツ学部	教授
各種 団体の 関係者	5		内海 信雄	江別市自治会連絡協議会	会長
	6		岡 幸代	子育て支援ワーカーズきらきら	代表
	7		春日 学	道央農業協同組合	代表理事副組合長
	8		鎌田 直子	江別市女性団体協議会	事務局次長
	9		齋藤 靖史	江別市PTA連合会	副会長
	10		佐藤 功	社会福祉法人 江別市社会福祉協議会	会長
	11		清水 崇史	一般社団法人 江別青年会議所	専務理事
	12		成田 裕之	NPO法人 えべつ協働ねっとわーく	事務局長
	13		西村 芳光	江別市高齢者クラブ連合会	会長
	14		星 優子	日本リサイクルネットワーク・えべつ	えべつ代表
	15		町村 均	江別商工会議所	会頭
	16		山崎 啓太郎	一般社団法人 えべつ観光協会	専務理事
公募 による者	17		猪狩 早苗	市民委員	
	18		小野 秀司	市民委員	
	19		小野 豊勝	市民委員	
	20		本山 爽香	市民委員	